

令和2年度 第4回大野市人口減少対策会議 議事メモ

日時：2月9日(火) 9時～10時10分

場所：結とぴあ 305・306号室(3階)

○出席委員 全27名中22名

○石山市長、久保教育長、政策局長、民生環境部長、産経建設部長、産経建設部理事、教育委員会事務局長、消防長、総合政策課員(事務局)

(加藤総合政策課長の司会進行により開会。大野市役所における働き方改革の一環として、会議時間の終了予定を10時とし、活発な意見交換を依頼)

9:00開会

1 市長あいさつ

- ・総合戦略の検討も最終段階に入っている。委員の皆様からたくさんのお力をいただき感謝申し上げます。
- ・今後、総合計画と総合戦略の策定に合わせ、市の当初予算の最終的なとりまとめに入る。皆様にもできることに取り組んでいただき、来年度からは新しい計画に基づき動き出す年としたい。

2 開会

(委員長あいさつ)

- ・今日はまとめとなる会議であるので、最後に委員の皆様から一言ずつご意見をいただきたい。

3 報告確認事項

(1) 委員等紹介

※別紙委員名簿のとおり、交代委員、本日の欠席委員の報告

4 協議および説明事項

(1) 第2期大野市総合戦略について

(2) 大野市人口ビジョン(令和2年度改訂版)について

※「第2期大野市総合戦略(素案)に係るパブリックコメントの意見について」を確認後、「第2期『大野市総合戦略』(案)」「大野市人口ビジョン(令和2年度改訂

版 案)」について変更箇所等の説明

(説明概要)

- ・総合戦略の2ページに、令和2年10月1日時点の福井県推計人口による大野市の人口を追加するとともに、人口ビジョンで示している合計特殊出生率と社会増減に関する2040年の目標を記載した。
- ・3ページに、目標人口に関連するグラフを人口ビジョンから転記した。
- ・施策に関する字句訂正などは総合計画の修正と合わせて行ったものである。
- ・人口ビジョンの3ページに、総合戦略の冒頭の将来の目標人口に関する内容と合わせ、令和2年10月1日現在の推計人口を追加した。

(委員発言)

委員長：説明内容について特にご意見がなければ、委員お一人お一人から人口減少対策に関する課題や抱負などについてご意見をいただきたい。

委員：少子化は、若者の経済的な事情に関係していると考えます。また、高校生などは、大野に若者受けするものが何もないと思っているのではないかと。大野に関心を持ってもらうため、皆で英知を絞って取り組むことが重要だと考える。

委員：新しい道の駅を起点として、市内周遊のコースづくりをしてもらいたい。まちなかコースや恐竜コース、アウトドアコースが考えられる。

委員：大野市の観光消費額は県内でも少ない。市民一丸となって消費額を上げられるよう取り組んでいきたい。

委員：コロナ禍で生活様式や働き方が変わってきている。この機に、市内の企業の魅力を伝えていくと良い。

委員：長年、人口減少対策会議に関わる中で、昨年、子育て応援パッケージもでき、子育て支援が徐々に良くなってきていると実感している。

アウトドアブームがきているので、市内のキャンプ施設や観光地のトイレの整備などを進めてもらいたい。

学校再編を機に、先進的な教育を取り入れてアピールしてほしい。

委員：若者の流出の原因の一つとして働く場がないといわれるが、市内にも良い企業はある。そうした企業をアピールするためにも、認定制度を進めていただきたい。

委員：こうした会議はゴールではなくスタート。さまざまな意見を集約して、市役所内の横の連携に活かしていただきたい。

委員：高校生の地域貢献などを行っており、意見や考えを発表する機会がある。それが市政にどのように反映されたかなどを生徒にフィードバックしてもらいたい。

委員：地元の企業が求人しても、待遇面などを理由に市外に働きに行く人が多い。労働組合も地元企業のアピールをしていく必要がある。

- 委員：地域の金融機関も行政と協力して、地域活性化に貢献していきたい。こうした場での話も持ち帰り、職員に伝えていきたい。
- 委員：大野らしさを打ち出した人口減少対策に取り組んでいてもらいたい。
- 委員：各団体の組織力が弱っている。市の一層の支援をお願いしたい。
- 委員：伝統芸能を発表し、子どもたちに伝える機会を設けてもらいたい。次に、文化会館の整備について見通しを立ててもらいたい。また、若者の定着のため、国道158バイパスの早期整備を促進してもらいたい。
- 委員：総合戦略をしっかりと実行することが、何より重要だと考える。
- 委員：人口減少は全国的な問題で、人口を増やすことは難しい。そうであれば、人口減少や高齢化を逆手に取った持続可能なまちを目指す取り組みがあっても良い。
- 委員：今回の内容を、青年会議所の会員にもしっかりと伝え、地域の課題解決に生かしていきたい
- 委員：人口減少対策としては、良い仕事があることと子育てしやすい環境があることが最も重要だと考える。
- 委員：大野の希望である子どもたちの人口が少しでも減らないよう、子育て世代の私たちができることはないか模索し実行していきたい。
- 委員：中部縦貫自動車道の県内全線開通を機に、大野産の米を中京方面に売り込みたい。
- 委員：人口減少対策の基本は教育。世界における日本、福井県、大野市の立ち位置を意識して、子どもたちが自分の人生設計をできるような教育やIT教育を進めるべき。大人も含めたすべての市民が、意識改革をしなければならない。
- 委員：市議会としても市と一体となって協働による地域づくりに努めていきたい。人口減少対策は、行政と市民が危機感を持って取り組まなければならない。大野市は今、緊急事態であるという認識の下、より良いまちとなるよう各界各層の皆様と一緒に進めていきたい。
- 委員長：総合戦略の完成がゴールではない。今後、施策の実施状況をしっかりと検証していくことと、オール大野で施策を全うしていく覚悟で取り組んでもらいたい。お集まりの団体の代表者の皆様には、リーダーシップを発揮し、市民を引っ張っていてもらいたい。

5 その他

○今後の推進会議について

(説明概要)

- ・大野市人口減少対策会議設置要綱第3条にあるとおり、委員の任期は本年3月31日までとなっている。
- ・第2期大野市総合戦略は、第六次大野市総合計画前期基本計画と整合性を図り、計画期間も合わせていることから、この二つを一体的に推進していきたいため、人口

減少対策会議は委員の任期満了をもって発展的に廃止し、総合計画と総合戦略との両方を推進する会議体を設けたい。

6 閉会

(副委員長あいさつ)

- ・大野市の人口減少問題は、新型コロナウイルスと同様、先が見えない状況ではあるが、そのようなリスクを吹き飛ばす特效薬を早く見つけたいと思う。

10：10閉会